

岡山県倉敷市

中心市街地活性化基本計画

【3期計画：令和3年4月～令和8年3月】

- ・江戸時代に幕府直轄領となり、新田・塩田開拓が進む
- ・明治期には近代産業の先駆けとして紡績業が発展
- ・昭和には水島臨海工業地帯が形成され、我が国有数の重化学工業地帯として成長
- ・人口481,519人(令和2年9月末住民基本台帳)、面積355.63km²

【前期計画(平成27年4月～令和3年3月)の概要】

- 倉敷市の特性を活かした施設整備、人を呼び込むイベントの開催支援等により、まちに賑わいが創出され、歩行者・自転車通行量が増加した。
- 豪雨災害により事業に遅延が発生したため、計画期間を1年間延長したが、令和2年度はコロナ禍の影響を受け、まちの活力が低下した。

【中心市街地の課題等】

○歴史的な町並みの継承

少子高齢化等により、貴重な地域資源である町家・古民家が空き家となり解体されることを防ぐため、建造物の再生整備を支援する等、歴史的な町並みを継承する取組が必要。

○便利で快適な居住環境の整備

本来「まちの顔」とも言うべき中心市街地において、減少を続ける居住人口に歯止めをかけるため、住民が便利で快適に生活することができる居住環境を整備することが必要。

○中心市街地内の交流促進

前期計画の取組により創出された賑わいの波及効果をまちなか全体に広げるため、拠点となる施設を整備する等、回遊性向上や来街者の滞留時間増加により中心市街地内の交流を促進する取組が必要。

【目指す中心市街地の都市像】

世界に誇る伝統文化 居心地のよいまち くらしき

【前期計画目標】

目 標	目 標 指 標	基 準 値	目 標 値	最新値 ※0は目標値の達成状況
倉敷がまもり育ててきた伝統文化を活かし、まちの魅力を向上させる	主要有料観光施設入場者数	526,598人/年 (H25)	610,000人/年 (R1)	550,718人/年 (R1:未達成)
歩いて楽しい、暮らしやすいまちを形成するまちづくり	歩行者・自転車通行量	96,263人/日 (H26)	120,000人/日 (R2)	57,440人/日 (R2:未達成)
	居住人口	7,983人 (H26)	8,800人 (R2)	7,524人 (R1:未達成)
まちなかに人を誘導し、交流を促進する	市民交流施設利用者数	597,223人/年 (H25)	600,000人/年 (R2)	725,266人/年 (R1:達成)

【新計画目標】

目 標	目 標 指 標	基 準 値	目 標 値
歴史的・伝統的資源を活用したまちの魅力向上	町家・古民家再生活用件数	39件 (H27-R1累計)	45件 (R3-R7累計)
便利で快適な営みのあるまちなかの形成	居住人口	7,507人 (R2)	8,000人 (R7)
	歩行者・自転車通行量	57,440人/日 (R2)	124,000人/日 (R7)
人が集い、交流するまちなかの形成	来街者の平均滞留時間	98分 (R1)	111分 (R6)

歴史的・伝統的資源を活用したまちの魅力向上

- 【主要事業】
- ・町家・古民家再生活用等支援事業
 - ・伝統的建造物群等保存事業
 - ・【新】倉敷町家創生塾
- など

便利で快適な営みのあるまちなかの形成

- 【主要事業】
- ・阿知3丁目東地区市街地再開発事業
 - ・倉敷駅周辺第二土地区画整理事業
 - ・【新】(仮称)空き家等職住一体活用事業(中心市街地南西部)
- など

人が集い、交流するまちなかの形成

- 【主要事業】
- ・倉敷物語館周辺再生整備事業(市所有広場)
 - ・まちづくりセンター跡地活用事業
 - ・【新】(仮称)駅前広場活用調査事業
 - ・【新】倉敷市民会館駐車場活用事業
- など

倉敷市中心市街地活性化基本計画の事業概要

歴史的・伝統的資源を活用したまちの魅力向上

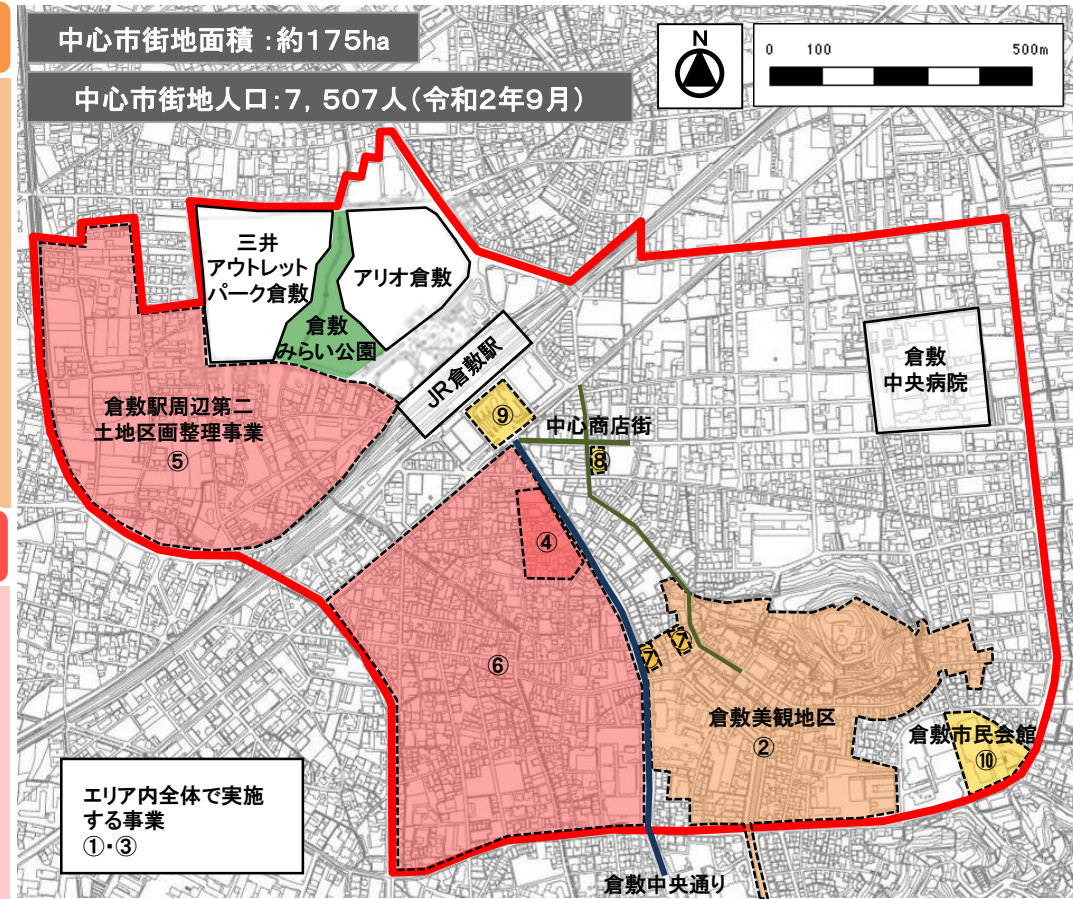
- ①町家・古民家再生活用等支援事業
町家・古民家の再生活用や、周辺エリアの活性化を図るまちづくり活動を支援することで、歴史的な建造物を活かしたまちの魅力向上を図る。
- ②伝統的建造物群等保存事業
倉敷美観地区における伝統的な建造物の修理や修景等を支援し、歴史的景観を守る。
- ③【新】倉敷町家創生塾
民間事業者が主体となり町家・古民家の保存、再生等に関する知識やノウハウを習得する研修を開催し、歴史的な町並みの継承を図る。

便利で快適な営みのあるまちなかの形成

- ④阿知3丁目東地区市街地再開発事業
市街地再開発事業により住宅、店舗、宿泊施設等を一体的に整備することで、まちなか居住の拠点を形成するとともに、日常的な賑わいを創出する。
- ⑤倉敷駅周辺第二土地区画整理事業
JR倉敷駅北側の大規模複合型商業施設に近接するエリアで土地区画整理事業を実施し、ゆとりある緑豊かな住宅地を整備することで、住民が快適に生活できる居住環境を創出する。
- ⑥【新】(仮称)空き家等職住一体活用事業(中心市街地南西部)
民間事業者が主体となり空き家等と入居希望者とをマッチングし、町家・古民家再生活用等支援事業等により、職住を一体とする住宅等を整備する。

人が集い、交流するまちなかの形成

- ⑦倉敷物語館周辺再生整備事業(市所有広場)
倉敷物語館周辺に市が保有する用地等を活用し、拠点としての魅力や機能を高める。



- ⑧まちづくりセンター跡地活用事業
JR倉敷駅南の商店街の中心に位置する「まちづくりセンター」跡地を活用し、賑わい創出機能を有する拠点を整備する。
- ⑨【新】(仮称)駅前広場活用調査事業
JR倉敷駅南の駅前広場を、利便性の高いバス、タクシー乗り場や自家用車送迎スペースに再整備するための調査等を実施する。
- ⑩【新】倉敷市民会館駐車場活用事業
中心市街地の外縁に位置する倉敷市民会館の駐車場を、施設利用者以外も利用できる市営駐車場として有効活用することで、市民や来訪者の駐車場需要に対処するとともに、中心部への車の流入の抑制を図る。